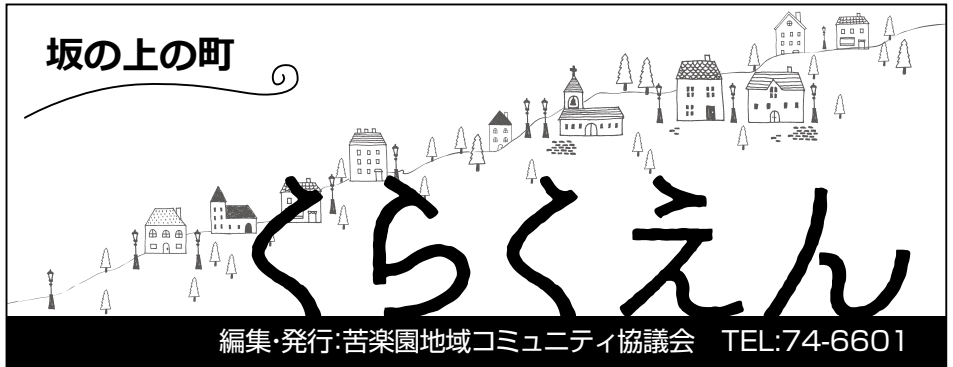




よしだ ゆき 吉田 侑記さん

平成7(1995)年生まれ 神戸市出身
神戸山手女子高等学校音楽科を経て、大阪音楽大学音楽学部器楽科卒業。同大学院管弦打研究室修了。
リヴィウ国際音楽祭(ウクライナ)に参加。
第15回神戸新人音楽賞コンクール優秀賞。
第27回KOBE国際音楽コンクール奨励賞。
ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団団員。
大阪音楽大学演奏員。神戸音楽家協会会員。

坂の上の町



編集・発行：苦楽園地域コミュニティ協議会 TEL:74-6601

ま
ち
の
宝
人
—— 吉田 侑記さん

クラシックの楽しさを

世界中の子どもたちに伝えたい。

バイオリニストでありながら、時にはビオラも演奏する弦楽界の2刀流、吉田侑記さんにインタビューしました。

——ビオラはいつから演奏を

：

初めてビオラを経験したのは、高校2年生の時でした。

オーケストラの授業でビオラを演奏する者がいなかったの
で、初めてですが、私が演奏
することになったのです。

そして大学2年生の時、バイオリンを専攻する学生は、授業でビオラを履修すること

ができ、高校の時よりもさまざまな曲を演奏する機会に恵まれました。そのことでバイオリンとは違うビオラの魅力を感じるようになりました。

ビオラの演奏人口は、バイオリンに比べて少なく、ビオラの奏者が見つからないときはよく声がかかります。

——バイオリンとビオラの違いは：

一番の違いは「大きさ」と「音域」です。バイオリンが主旋律を奏でるのに対し、ビオラは「縁の下の力持ち」として、楽曲に深みを出す役割を持つていると思います。

私の場合、ビオラでソロ演奏することはなく、室内楽やオーケストラで演奏することが多いです。

——何歳から楽器を：

2歳の時から姉と一緒に音楽教室に通っており、5歳からバイオリンを始めました。



演奏会の舞台

その時、はじめて弾いた曲は『キラキラ星』です。

高校生になってからは、毎年ドイツでの講習会に参加するようにになりました。海外で音楽にふれることになり、ますます音楽の魅力を感じるようになったになりました。特に修学旅行時の、ウィーンの教会での演奏会は感激しました。子どもの頃から音楽的環境には恵まれていたと思います。

バイオリンの道を志したのは中学3年生の時でした。先生の勧めによるものでした。音楽から離れようとした時期もありましたが、結局は音楽の魅力に負け、音楽科に進み、特待生にもなりました。また定期演奏会や卒業演奏会に出演することもでき、充実した高校生活を送ることができました。

——現在の活動について：

ザ・カレッジ・オペラハウスに所属しながら、オーケストラへの出演やさまざまな場所での演奏会、大学での授業サポート、音楽教室でのレッスンをしています。

プロになってまだ4年目です。いろいろな経験をしたいと思っています。

——将来の夢は：

かしこまって聴くクラシックではなく、未就学児もOKのような、誰もがリラックスして聴けるクラシックの演奏会を開きたいですね。子どもたちにクラシックも楽しいと思ってほしいのです。そして将来は、母校の小学校で演奏会を開催したいです。

笑顔がすてきな吉田さん。

世界を代表する2刀流になる日は近いと確信しました。



越木岩公民館でも演奏会

地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」

苦楽園中学校

平成10（1998）年度から行われている中学2年生を対象とした「トライやる・ウィーク」が、5月19～23日の日程で実施されました。今年も約50カ所の事業所や文化施設の協力を得て、苦楽園中学2年生がさまざまなことを学びました。

その活動の一つとして、花柳流日本舞踊を体験した2人は、わずか5日間の練習で、長唄『松の緑』を見事に披露しました。

限られた時間の中で、最初の4日間は振り付けを覚え、最終日は通し稽古に臨んだそうです。2人が工夫して書いた手書きのメモからも、真剣な姿勢が伝わってきました。



びっしりと書かれたメモ



たおやかな舞を披露

日本舞踊を指導した花柳勉若（はなやぎみちわか）師範によると、「舞っている本人が、今自分が何をしているかを理解することが大切」とのこと。「2人は、教えたことをすぐに理解して、踊りに生かしていた」とのこと、師範もその吸収力の早さに驚いたそうです。生徒たちは、「この1週間を通して、できなかったことができ、いく喜びや、登場人物を踊りに反映させ、演じ分けて踊る楽しさを体験した」と語りました。

日本舞踊に真剣に向き合う彼らの姿から、地域が持つ温かいまなざしと多様な学びの場が、子どもたちの未来を育む大切な力となっていることを深く感じました。

NK祭

県立西宮北高等学校・西宮苦楽園高等学校

「北高祭」から名前を変えた「NK祭」は、6月20、21日に行われました。今年のテーマは「笑顔満載#青春、開催中」。ここに集うすべての人が、「笑顔満載」になれる文化祭にしようという意味です。

ここから始まる！
出迎えゲート3年5組の演劇
『今日から俺は!!』

1年生は展示造形、2年生はアミューズメントと模擬店は3年生は劇で、一生懸命盛り上げていました。特に、伝統のクラス対抗演劇が行われた体育館は、観劇する保護者、関係者の熱気に包まれていました。

第41回「甲山フェスティバル」

県立西宮
甲山高等学校

西宮甲山高校は「第41回甲山フェスティバル」を、6月13日、14日に開催しました。フェスティバルのテーマは、「気炎万丈」。今年の4月に県立西宮北高校との発展的統合で、2年生と3年生の2学年となりましたが、生徒一人一人が積極的に取り組み、フェスに対する熱い思いが模擬店、

甲フェス
水族館へようこそ♪白熱の演技に
大拍手！

展示、2年生の合唱、3年生の演劇からも伝わってきました。またPTA、卒業生も有志として出店。卒業生が運営する食堂は在校生と卒業生で大いににぎわい、さながら同窓会!? 母校への愛があふれる楽しく、熱いフェスとなりました。

時間／曜日	月	火	水	木	金	土
8:30	○	○	○	△	○	○
12:00				△		
15:45	○	○	○	△	○	△
19:00				△		

休診／木曜・土曜午後・日曜・祝祭日

(電話) 0798-72-4601(代)
https://www.sonodanaika.com

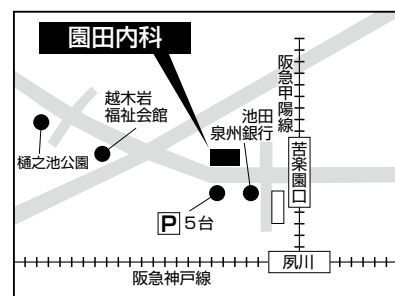
内科 胃腸科 循環器科



医療法人社団

園田内科

西宮市南越木岩町14-7
阪急苦楽園口駅 西側徒歩約3分



自然学校で育む絆と成長

苦楽園小学校

苦楽園小学校5年生の自然学校が、6月16日から4泊5日の日程で行われました。今年の宿泊先は、西宮市立山東自然の家です。

1日目は陶芸体験を行い、茶わんや湯飲みなど、それぞれの思いが詰まったすてきな作品を作りました。

2日目の午前中は選択プログラムがあり、「秘密基地づくり」「川遊び」「クラフト」に分かれて活動しました。夜は野外で映画鑑賞です。満天の星の下、自然の音を感じながら映画を楽しみました。

3日目は野外炊飯です。班で協力しておいしいカレーができました。夜はナイトハイクへ。暗闇の中、星を眺めていると蛍が飛んできました。



この川、何がいるかな？



心に残るキャンプファイア

4日目はアマゴつかみをしました。アマゴの素早い動きとぬるっとした感触に大騒ぎ。自分で串を刺し、焼いた魚を、命に感謝しながらおいしくいただきました。

夜は自然学校の集大成、キャンプファイアです。みんなで考えたスタンツやダンスで盛り上がりました。最後は一人一人のトーチに分火し、みんなの気持ちが一つになりました。

最終日は、5日間過ごした場所を自分たちで掃除しました。帰りに寄ったヒメハナ公園では、暑い中、元気いっぱい遊びました。

豊かな自然の中で、仲間と協力して取り組んださまざまな経験により、子どもたちは大きく成長したことでしょう。

ありがとうの気持ちを込めて

苦楽園青愛協

苦楽園地区青少年愛護協議会は、小学生向けに工作教室を6月14日に開催しました。父の日の前日ということので「感謝の気持ちを伝えるフォトフレーム作り」です。

まず、木のフレームの土台に油性ペンや色鉛筆で色を塗ります。ペイントができればフレームを型から外し、角にやすりをかけました。やすりの扱いに慣れておらず、見守りボランティアに手伝ってもらう子もいました。土台ができた後、お花やハートのシールで飾りつけてメッセージカードを書いて完成です。

贈る瞬間のことを思い浮かべた子どもたちの顔は、とてもキラキラしていました。



きれいに色が塗れたね

星に願いをー七夕会

夙川宝プリスクール

夙川宝プリスクールでは、7月7日に「七夕会」が開催されました。「たなばたさま」の歌を全員で合唱。七夕にまつわる絵本の読み聞かせと、七夕飾りの意味の紹介では、「へえー！そうなんだあ」と真剣に聞き入っていました。

0～5歳児まで全園児が短冊の願い事と特技を発表。「大きくになりたい」「警察官になりたい」「ママとずっと一緒にいたい」本音もちらり。ピアニカ、ハーモニカの演奏、英語の歌に跳び箱や縄跳びの披露では大声援と大拍手！温かい雰囲気の中で、短冊と成長する園児みんなの願い事がかないますように。

ハーモニカの演奏もバッチリ♪



短冊に願いを〜♪

ゲームややり投げに大興奮！

ボーイスカウト西宮第13団

新緑がまぶしい5月18日、兵庫県立甲山森林公園に、芦屋・西宮市のカブスカウトの子どもたち約250人が集合。4～6人ごとに分かれて、ジエスチャーゲームややり投げ、記憶力テスト、的当てなど、体力と知力ゲーム6種の内容に挑戦しました。

やり投げ
しっかり飛ぶかな

各チームでポイントを競い合い、高得点を狙います。結果発表では勝利の歓声や拍手喝采が起きました。

最後はみんなで輪になって歌を歌い、互いを褒めたたえ合い、別れを惜しむシーンもありましたが、笑顔と元気がいっぱい1日になりました。



みんなで誓いの言葉

越木岩センター 準備推進活動講座

「みんなでミサンガを作ろう」

講師 ワコさん
(ブラジル人)



1月に続き、夏至の6月21日に越木岩会館で「みんなでミサンガを作ろう」講座が開催されました。定員50人に対して、小学低学年を中心に約70人が参加し、会場は大盛り上がりになりました。

まずは順番に並び、材料を吟味。目を輝かせながら色鮮やかな糸の中から2色を選択し、ミサンガを編む前からとっても楽し

そう。全員の準備が整いスタート。近くの人同士で助け合うすてきな姿もあちこちで見られました。

最後は、ワコさんが一つ一つ丁寧に仕上げて、一人一人とハイタッチして出来上がり。今回も個性豊かなすてきなミサンガが、たくさん出来上がりしました！

苦 楽 園 百 景

苦楽園中学校



閑散な道から見える景色

稲田 有



いつもの道

菊田 あい



川とマンション

坂口 美桜



毎日見る風景

寺本 望花

お気軽に 無料相談窓口にお電話下さい

内容証明

相続・遺言

国際結婚

各種許認可

契約書作成

アトラス行政書士法人

行政書士法人番号 第 2308101

〒662-0098

西宮市柏堂西町 14 番 25 号

9:00~17:00 土日祝休み

無料相談窓口



0120-005-185



アトラス行政書士法人

atlas-gyousei.com